



なかしん

中小企業景況レポート

No.3 中栄信用金庫 経営相談室

平成24年4月～6月実績と平成24年7月～9月見込み

◆調査概要

調査時期 平成24年6月上旬
 調査地域 秦野市、伊勢原市、平塚市、厚木市
 調査企業数 254社
 回答企業数 249社

【調査先及び回答状況】

	調査先	回答数	回答率
製造業	70	67	95.7
卸売業	21	21	100.0
小売・飲食業	50	50	100.0
サービス業	36	35	97.2
建設業	42	42	100.0
不動産業	35	34	97.1
合計	254	249	98.0

◆4月～6月期の概況

～景況感は▲20.8と2期連続悪化となる～

当金庫主要営業地区内における中小企業を対象に景気動向調査を実施した結果、全業種総合の業況判断D.I.は▲20.8を示し前回調査（平成24年1月～3月期）に比べ4.7ポイントの悪化となりました。これは、昨年の震災後の自粛反動から一部の業種において業況の改善が見受けられるものの、今夏の電力不足ならびに電気料金値上げ、欧州問題を起因とする為替相場の変動、大手企業における生産拠点の海外シフト進展等、中小企業を取り巻く経済環境の変化が厳しく、景気の下落圧力とともに先行き不透明感が景況感の低下に影響しているものと思われます。

項目別にみると、売上実績D.I.は前回調査比10.8ポイント悪化の▲17.2、収益実績D.I.は前回調査比7.9ポイント悪化の▲19.6となっております。資金繰りについては、前回調査比3.4ポイント改善の▲17.6、人手不足については、6.8ポイント不足感が弱まり▲9.8となっております。

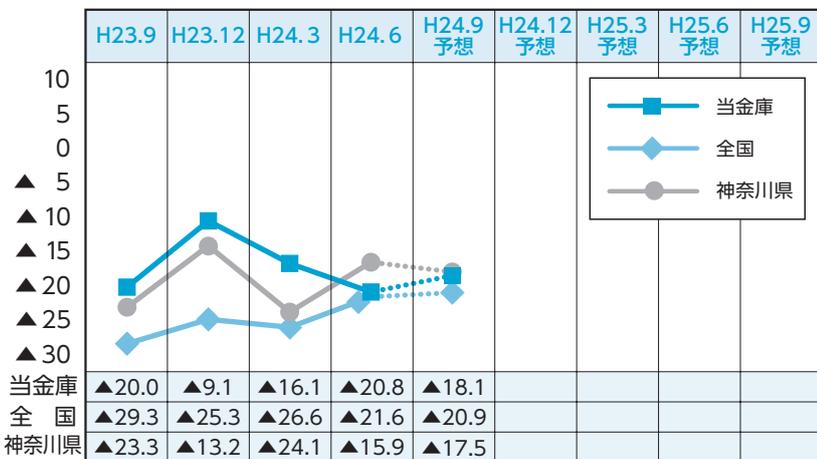
また、業種別の景況感は、サービス業が17.1ポイント改善し▲11.4、不動産業が年度初めの季節的要因により2.9ポイント改善した以外は、全ての業種において悪化に転じております。特に製造業では23.9ポイントの大幅悪化を示し▲28.3、卸売業では4.2ポイント悪化の▲14.2、小売・飲食業では1.0ポイントの悪化を示し▲52.0、建設業は2.4ポイント悪化の2.3となっております。（業種別の詳細については、次頁以降をご参照ください。）

なお、全国の中小企業の業況判断D.I.は、5.0ポイント改善の▲21.6と全6業種で改善となっており、神奈川県内は、8.2ポイント改善の▲15.9となっております。（全国と神奈川県のD.I.値については、信金中央金庫による調査に基づいております。以下同様。）

◆7月～9月期の見通し

来期の業況判断予想は、2.7ポイント改善の▲18.1と予想されております。業種別では、卸売業は悪化の予想、サービス業は横這いとなっている以外は、全ての業種において小幅ながら改善する見込みとなっておりますが、円高、電気料金の値上げ、電力不足等を懸念する意見が多く、引続き低調な見通しが予想されます。

業況判断D.I.値（全業種）



業種別景気天気図

	前期	今期	予想
総合			
製造業			
卸売業			
小売・飲食業			
サービス業			
建設業			
不動産業			

※この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。

好調 ← → 低調
 良い ← → 悪い

全国、神奈川県の業況判断D.I.値は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所が全国約16,000（うち神奈川県480）の中小企業を対象に実施している「全国中小企業景気動向調査」の調査データに基づいております。

D.I.値とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から、「悪い」「やや悪い」と回答した企業の割合を引いた値です。値が小さいほど業況判断は悪いということになります。

製造業

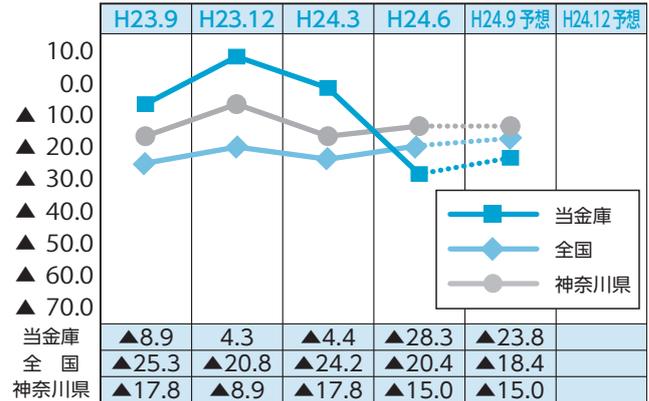
概況

製造業の業況判断 D.I. は前回調査比 23.9 ポイント悪化の▲28.3 と、大幅な悪化を示しております。項目別では、売上額 D.I. は 26.9 ポイント悪化の▲31.3、収益 D.I. は 25.4 ポイント悪化の▲35.8、資金繰りは 4.5 ポイント悪化の▲20.9 となっております。当該地域の製造業においては、大手企業の新興国への海外進出や生産拠点の移転により、受注量の変動が大きくなっており、生産計画も短縮化・見直し頻度が激しくなるなど経営環境変化への対応が難しくなっております。また、一部の自動車部品関連企業においては、今夏の電力不足・料金値上げ対策として自家発電設備を導入する等の自助努力を図る企業も見受けられます。

なお、全国は 3.8 ポイント改善の▲20.4 となっており、神奈川県は 2.8 ポイント改善の▲15.0 となっております。

来期の予想業況判断は▲23.8 と 4.5 ポイントの改善が予想されております。

業況判断D.I.値



売上額

項目	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	34.4	26.8	38.8		▲4.4
当期実績	16.4	35.9	47.7		▲31.3
来期予想	20.9	43.3	35.8		▲14.9
前年同期比	43.2	19.5	37.3		5.9

販売価格

項目	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	3.0	76.1	20.9	▲17.9
当期実績	1.5	70.2	28.3	▲26.8
来期予想		79.1	20.9	▲20.9

在庫

項目	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	14.0	82.9	3.1	10.9
当期実績	9.0	88.0	3.0	6.0
来期予想	6.1	83.3	10.6	▲4.5

人手

項目	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	13.4	59.8	26.8	▲13.4
当期実績	20.9	65.6	13.5	7.4
来期予想	13.8	70.9	15.3	▲1.5

収益

項目	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	23.9	41.8	34.3		▲10.4
当期実績	13.4	37.4	49.2		▲35.8
来期予想	20.9	40.3	38.8		▲17.9
前年同期比	34.4	26.8	38.8		▲4.4

原材料価格

項目	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	32.3	61.5	6.2	26.1
当期実績	21.5	70.8	7.7	13.8
来期予想	20.0	73.8	6.2	13.8

資金繰り

項目	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	13.4	56.8	29.8	▲16.4
当期実績	7.4	64.3	28.3	▲20.9
来期予想	7.5	59.7	32.8	▲25.3

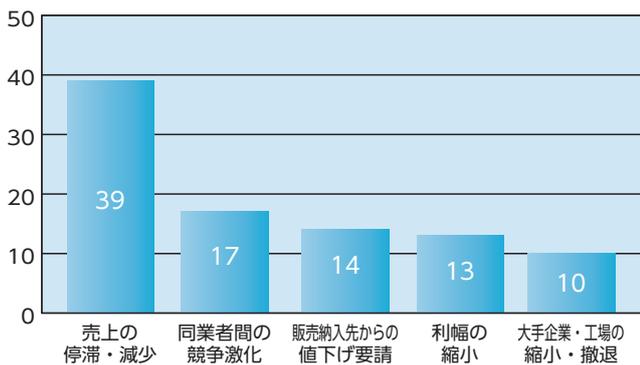
設備状況

項目	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	7.5	74.4	18.1	▲10.6
当期実績	10.8	75.4	13.8	▲3.0
来期予想	10.8	75.4	13.8	▲3.0

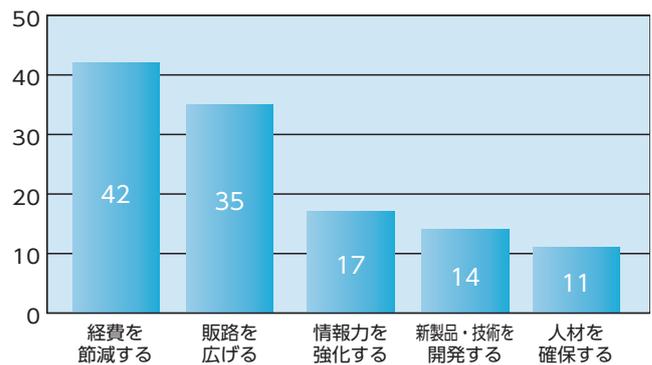
当期実績…24年 4～6月期
来期予想…24年 7～9月期

□ 良い、増加、上昇 普通、変わらず 悪い、減少、下降
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



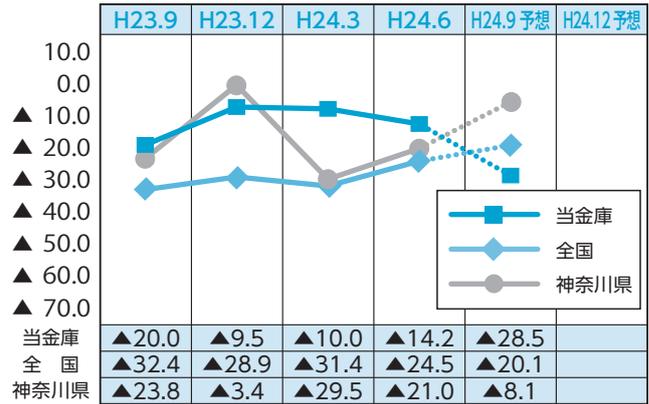
卸売業

●概況

卸売業の業況判断 D.I. は前回調査比 4.2 ポイント悪化の▲14.2 となりました。項目別では、売上額 D.I. は前期に比べ 5.0 ポイント改善の 0.0、収益 D.I. は 14.0 ポイント悪化の▲19.0、販売価格は 15.0 ポイント悪化の 0.0、資金繰りは 8.8 ポイント悪化の▲23.8 となっております。原油価格の下落等のプラス要因はあるものの、同業者間の価格競争が激化している中、仕入価格 D.I. は依然としてプラス域に高止まりを示しており、また、在庫の過剰感も強まっていることから、資金繰りが厳しい状況であることが窺える結果となっております。

なお、全国は 6.9 ポイント改善の▲24.5 となっており、神奈川県は 8.5 ポイント改善の▲21.0 となっております。来期の予想業況判断は 14.3 ポイント悪化の▲28.5 と 3 期連続の悪化が予想されております。

●業況判断D.I.値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
売上額	40.0	15.0	45.0	42.8	▲5.0
仕入価格	15.0	52.4	23.8	28.6	0.0
収益	25.0	33.3	28.5	38.1	▲19.0
資金繰り	15.0	30.0	28.5	33.3	▲15.0
設備状況	10.0	10.0	10.5	10.5	▲10.0
人手	5.0	10.0	5.0	5.0	▲5.0
在庫	15.7	19.0	9.5	9.5	0.0
販売価格	30.0	19.0	9.5	28.6	15.0
当期実績	23.8	52.4	23.8	28.6	0.0
来期予想	14.3	61.9	23.8	28.6	▲9.5
前年同期比	42.8	28.6	28.6	28.6	14.2

販売価格

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
販売価格	30.0	19.0	9.5	28.6	15.0
当期実績	19.0	62.0	19.0	28.6	0.0
来期予想	9.5	76.3	14.2	28.6	▲4.7

在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
在庫	15.7	19.0	9.5	9.5	0.0
当期実績	19.0	71.5	9.5	9.5	9.5
来期予想	9.5	81.0	9.5	9.5	0.0

人手

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
人手	5.0	10.0	5.0	5.0	▲5.0
当期実績	5.0	85.0	10.0	5.0	0.0
来期予想	15.0	80.0	5.0	5.0	10.0

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
収益	35.0	14.3	14.3	28.6	▲19.0
当期実績	25.0	52.4	33.3	38.1	▲19.0
来期予想	40.0	57.2	28.5	38.1	▲14.2
前年同期比	28.6	38.1	33.3	33.3	▲4.7

仕入価格

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
仕入価格	40.0	28.5	9.5	28.6	30.0
当期実績	50.0	62.0	9.5	28.6	19.0
来期予想	10.0	76.3	14.2	28.6	▲4.7

資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
資金繰り	15.0	4.7	4.8	33.3	▲15.0
当期実績	55.0	66.8	28.5	33.3	▲23.8
来期予想	30.0	61.9	33.3	33.3	▲28.5

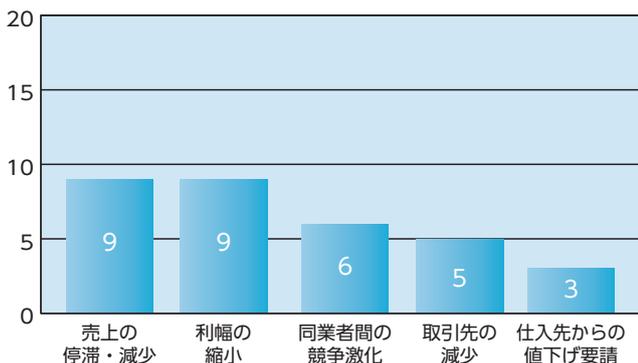
設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
設備状況	90.0	5.3	5.3	10.5	▲10.0
当期実績	10.0	84.2	10.5	10.5	▲5.2
来期予想	10.0	84.2	10.5	10.5	▲5.2

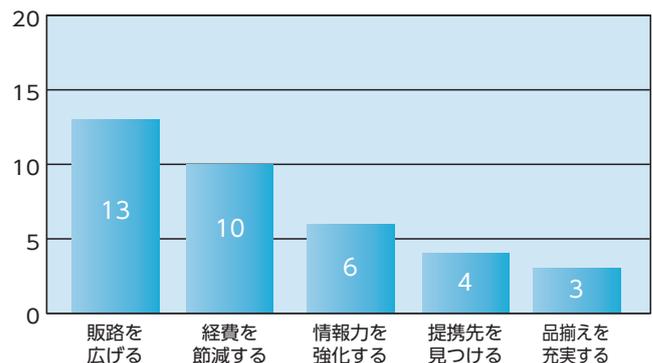
当期実績…24年 4～6月期
来期予想…24年 7～9月期

□ 良い、増加、上昇、過剰、楽 □ 普通、変わらず、適正 □ 悪い、減少、下降、不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



小売・飲食業

概況

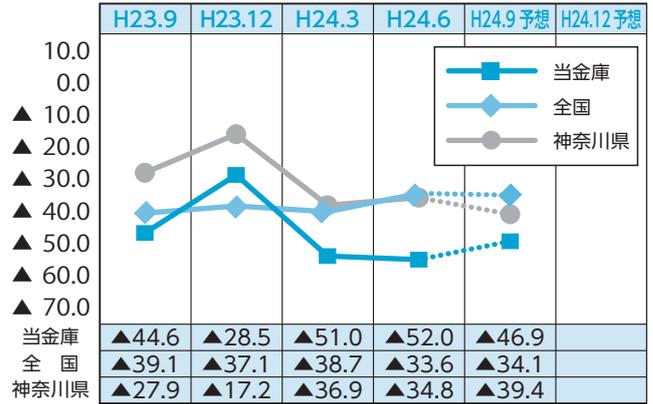
小売・飲食業の業況判断 D.I. は前回調査比 1.0 ポイントの悪化を示し▲52.0 とほぼ横ばいの動きとなっております。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 14.7 ポイント改善の▲22.0、収益 D.I. は 10.5 ポイント改善の▲18.0 となっております。項目別では改善を示しているものの、大手競合店との価格競争に加え、景気低迷による消費者の節約・抑制志向が根強く、また、改善幅も依然としてマイナス域での改善に止まっていることが業況判断の悪化に影響しているものと思われます。

なお、全国は 5.1 ポイント改善の▲33.6 となっており、神奈川県は 2.1 ポイント改善の▲34.8 となっております。

来期の予想業況判断は、▲46.9 と 5.1 ポイントの改善が予想されており、夏期ボーナス商戦に向けた売上増加が期待されております。

業況判断D.I.値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	16.3	30.7	53.0		▲36.7
当期実績		26.0	26.0	48.0	▲22.0
来期予想		28.0	22.0	50.0	▲22.0
前年同期比		26.0	20.0	54.0	▲28.0

販売価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.	
前期実績	8.1	73.6	18.3	▲10.2	
当期実績		6.0	78.0	16.0	▲10.0
来期予想		8.0	70.0	22.0	▲14.0

在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.	
前期実績	24.4	67.5	8.1	16.3	
当期実績		8.0	86.0	6.0	2.0
来期予想		10.0	82.0	8.0	2.0

人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.	
前期実績	12.2	65.4	22.4	▲10.2	
当期実績		4.1	67.4	28.5	▲24.4
来期予想		4.1	77.6	18.3	▲14.2

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	14.3	42.9	42.8		▲28.5
当期実績		24.0	34.0	42.0	▲18.0
来期予想		22.0	30.0	48.0	▲26.0
前年同期比		18.0	36.0	46.0	▲28.0

仕入価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.	
前期実績	20.4	67.3	12.3	8.1	
当期実績		14.0	70.0	16.0	▲2.0
来期予想		18.0	70.0	12.0	6.0

資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.	
前期実績	4.1	59.2	36.7	▲32.6	
当期実績		6.0	52.0	42.0	▲36.0
来期予想		4.0	58.0	38.0	▲34.0

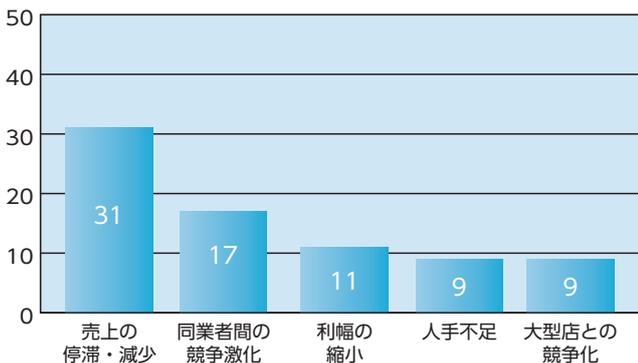
設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.	
前期実績	4.1	81.4	14.5	▲10.4	
当期実績		75.6	24.4	▲24.4	
来期予想		2.1	72.9	25.0	▲22.9

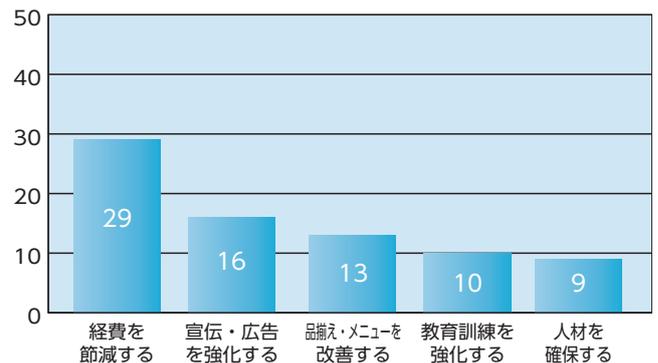
当期実績…24年 4～6月期
来期予想…24年 7～9月期

□ 良い、増加、上昇 過剰、楽 □ 普通、変わらず 適正 □ 悪い、減少、下降 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



サービス業

概況

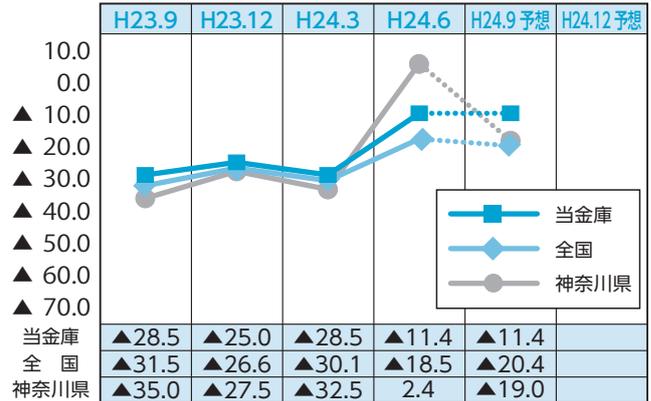
サービス業の業況判断 D.I. は前回調査比 17.1 ポイント改善の▲11.4 となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 11.4 ポイント改善の 5.7、収益 D.I. は 11.4 ポイント改善の▲5.7、資金繰りは 31.4 ポイントの大幅改善を示し▲5.7 となっております。これは、サービス業の特性である季節的需要変動（大型連休等）によるところもありますが、東日本大震災の影響で自粛ムードが広がった昨年からの反動増が寄与しているものと思われます。

なお、全国は 11.6 ポイント改善の▲18.5 となっており、神奈川県は 34.9 ポイント大幅改善の 2.4 となっております。

来期の予想業況判断は、電気料金値上げ等のコスト上昇への懸念から、横這いの▲11.4 と予想されております。

業況判断D.I.値



売上額

	前期実績	当期中間	当期実績	D.I.
前期実績	22.8	48.7	28.5	▲5.7
当期実績	34.2	37.3	28.5	5.7
来期予想	20.0	51.5	28.5	▲8.5
前年同期比	48.5	25.8	25.7	22.8

料金価格

	前期実績	当期中間	当期実績	D.I.
前期実績	-5.7	88.6	5.7	0.0
当期実績	-11.4	88.6	5.7	▲5.7
来期予想	-5.7	91.4	2.9	2.8

資金繰り

	前期実績	当期中間	当期実績	D.I.
前期実績	-8.6	45.7	45.7	▲37.1
当期実績	17.1	60.1	22.8	▲5.7
来期予想	-5.7	65.8	28.5	▲22.8

設備状況

	前期実績	当期中間	当期実績	D.I.
前期実績	-2.8	83.0	14.2	▲11.4
当期実績	-5.7	71.5	22.8	▲17.1
来期予想	-2.9	79.5	17.6	▲14.7

収益

	前期実績	当期中間	当期実績	D.I.
前期実績	14.3	54.3	31.4	▲17.1
当期実績	28.5	37.3	34.2	▲5.7
来期予想	17.2	51.4	31.4	▲14.2
前年同期比	31.4	37.2	31.4	0.0

材料価格

	前期実績	当期中間	当期実績	D.I.
前期実績	31.4	65.7	2.9	28.5
当期実績	-11.4	88.6		11.4
来期予想	-5.7	94.3		5.7

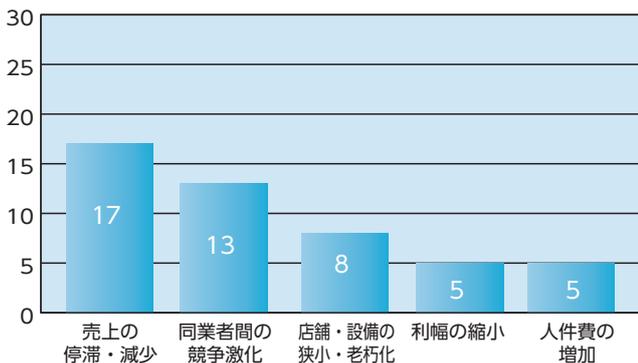
人手

	前期実績	当期中間	当期実績	D.I.
前期実績	-11.4	57.2	31.4	▲20.0
当期実績	14.3	68.6	17.1	▲2.8
来期予想	-5.7	82.9	11.4	▲5.7

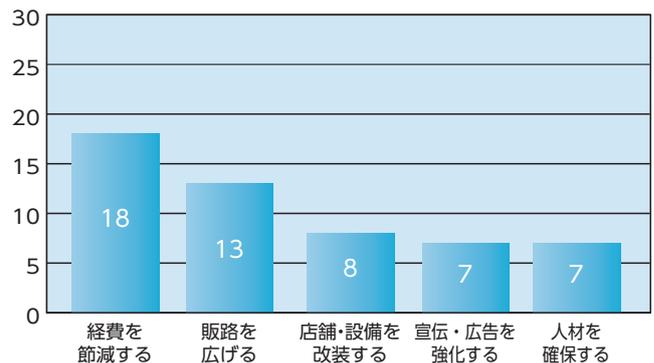
当期実績…24年 4～6月期
来期予想…24年 7～9月期

□ 良い、増加、上昇 過剰、楽 □ 普通、変わらず 適正 □ 悪い、減少、下降 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



建設業

●概況

建設業の業況判断 D.I. は前回調査比 2.4 ポイント悪化の 2.3 となりましたが、依然としてプラス域を維持しております。

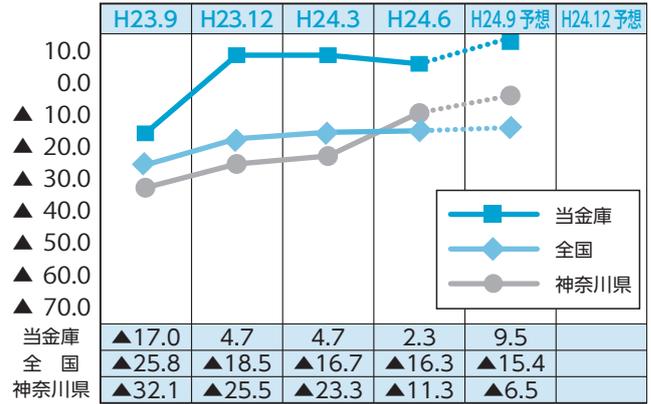
項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 33.2 ポイント悪化の ▲14.2、収益 D.I. は 11.8 ポイント悪化の ▲9.5、請負価格は 2.3 ポイント悪化の ▲14.2 となっております。

住宅向け太陽光発電システム設置補助金の導入、耐震工事等により、一部の住宅関連工事を行う企業において業況は改善傾向となっているものの、震災の復興需要に伴う資材価格の上昇がみられることから、収益の悪化を招いているものと思われます。

なお、全国は 0.4 ポイント改善の ▲16.3 となっており、神奈川県は 12.0 ポイント改善の ▲11.3 となっております。

来期の予想業況判断は 9.5 と 7.2 ポイントの改善が予想されております。

●業況判断D.I.値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	35.7	47.6	16.7		19.0
当期実績	21.5	42.8	35.7	▲14.2	
来期予想	30.9	54.8	14.3	16.6	
前年同期比	40.4	31.1	28.5	11.9	

請負価格

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	-4.7	78.7	16.6		▲11.9
当期実績	-2.4	81.0	16.6	▲14.2	
来期予想	-4.7	78.7	16.6	▲11.9	

在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	97.7	2.3			▲2.3
当期実績	-4.7	90.6	4.7	0.0	
来期予想	-2.4	92.9	4.7	▲2.3	

人手

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	-2.4	61.9	35.7		▲33.3
当期実績	-4.9	65.9	29.2	▲24.3	
来期予想	-2.4	63.5	34.1	▲31.7	

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	23.8	54.7	21.5		2.3
当期実績	16.6	57.3	26.1	▲9.5	
来期予想	16.6	66.8	16.6	0.0	
前年同期比	30.9	42.9	26.2	4.7	

材料価格

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	21.4	78.6			21.4
当期実績	21.9	73.2	4.9	17.0	
来期予想	16.6	81.0	2.4	14.2	

資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	11.9	54.8	33.3		▲21.4
当期実績	11.9	71.5	16.6	▲4.7	
来期予想	-7.1	76.3	16.6	▲9.5	

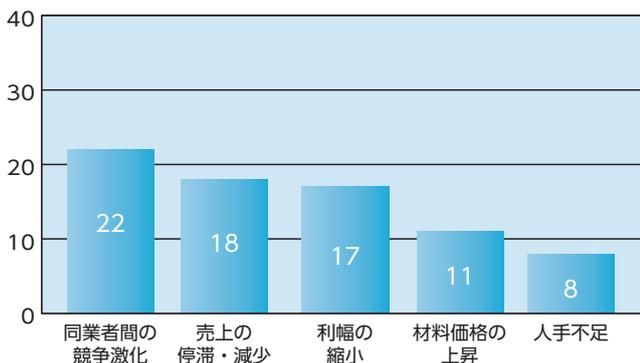
設備状況

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績		92.7	7.3		▲7.3
当期実績	-4.7	90.6	4.7	0.0	
来期予想	-4.7	90.6	4.7	0.0	

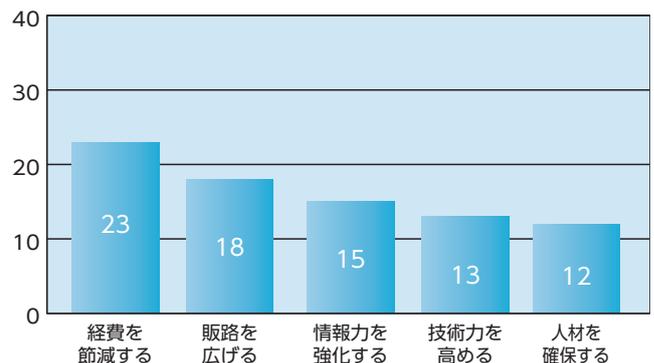
来期予想…24年 4～6月期
来期予想…24年 7～9月期

□ 良い、増加、上昇 □ 普通、変わらず □ 悪い、減少、下降
□ 過剰、楽 □ 適正 □ 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



不動産業

概況

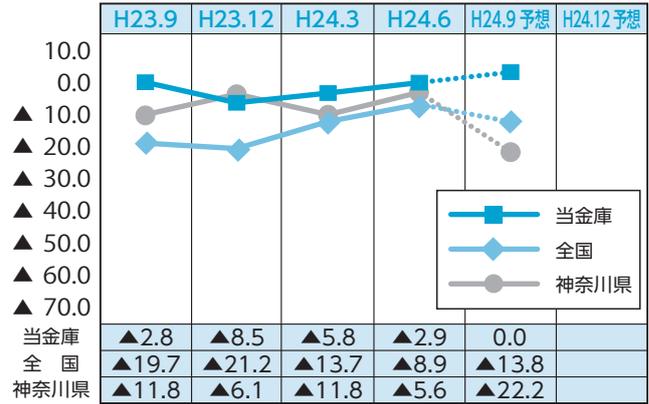
不動産業の業況判断 D.I. は前回調査比 2.9 ポイント改善の▲2.9 と 2 期連続での小幅改善となりました。

項目別では、売上額 D.I. は前回調査比 20.5 ポイント悪化の▲20.5、収益 D.I. は 11.8 ポイント悪化の▲17.6、資金繰りは 8.8 ポイント悪化の▲8.8 となっております。年度初めの季節的要因により業況は改善傾向となるものの、依然として商品物件の不足感が根強く、情報力を強化するとともに、販売価格の値下がり傾向が継続する中での商品仕入れ判断が課題となっております。

なお、全国は 4.8 ポイント改善の▲8.9 となっており、神奈川県は 6.2 ポイント改善の▲5.6 となっております。

来期の予想業況判断は、2.9 ポイント改善の 0.0 と 3 期連続の改善が予想されております。

業況判断 D.I. 値



売上額

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	29.4	41.2	29.4		0.0
当期実績		20.6	38.3	41.1	▲20.5
来期予想		23.6	47.0	29.4	▲5.8
前年同期比		23.6	47.0	29.4	▲5.8

販売価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.	
前期実績	70.6	29.4		▲29.4	
当期実績		2.9	70.7	26.4	▲23.5
来期予想		2.9	70.7	26.4	▲23.5

在庫

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.	
前期実績	5.8	59.0	35.2	▲29.4	
当期実績		5.9	47.1	47.0	▲41.1
来期予想		3.0	52.9	44.1	▲41.1

人手

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.
前期実績	3.0	78.9	18.1	▲15.1
当期実績		81.9	18.1	▲18.1
来期予想		87.9	12.1	▲12.1

収益

	前期実績	当期実績	来期予想	前年同期比	D.I.
前期実績	26.5	41.2	32.3		▲5.8
当期実績		20.6	41.2	38.2	▲17.6
来期予想		26.4	38.4	35.2	▲8.8
前年同期比		20.6	47.1	32.3	▲11.7

仕入価格

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.	
前期実績	5.9	79.4	14.7	▲8.8	
当期実績		8.9	76.4	14.7	▲5.8
来期予想		11.7	67.8	20.5	▲8.8

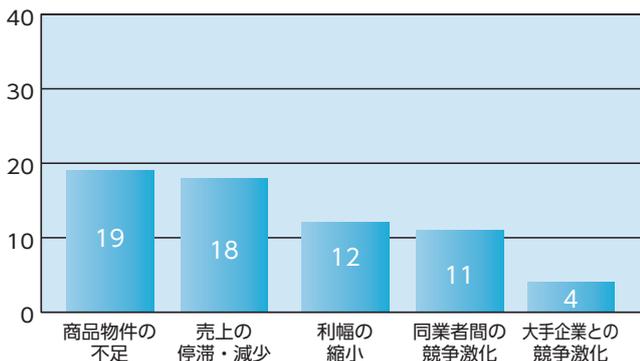
資金繰り

	前期実績	当期実績	来期予想	D.I.	
前期実績	11.7	76.6	11.7	0.0	
当期実績		8.8	73.6	17.6	▲8.8
来期予想		17.7	58.8	23.5	▲5.8

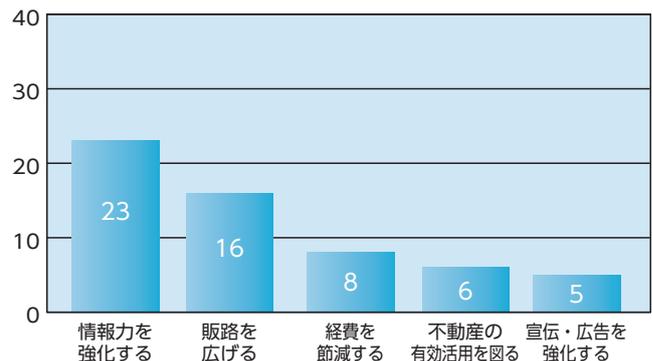
当期実績…24年 4～6月期
来期予想…24年 7～9月期

□ 良い、増加、上昇 過剰、楽 □ 普通、変わらず 適正 □ 悪い、減少、下降 不足、苦しい

経営上の問題点 (複数回答)



当面の重点経営施策 (複数回答)



当金庫のお客様 254 社にお願いして特別調査を実施いたしました。

問1. 貴社では、最近（東日本大震災以降の1年）における人手の過不足状況をどのように認識していますか。人手が不足している場合は1～4より、人手が過剰な場合は6～9よりそれぞれ過不足のある職域をお答えください。

人手不足

1位	現場作業関係	33社
2位	営業・販売関係	19社
3位	その他の職種	5社
4位	経理・財務・管理関係	2社

人手過剰

1位	現場作業関係	13社
2位	営業・販売関係	2社
—	経理・財務・管理関係	0社
—	その他の職種	0社

問2. 貴社では、団塊世代の引退により何らかの影響が見込まれますか。影響が見込まれる場合の対応について、1～5の中から1つお答えください。また、貴社の従業者のうち、50歳以上の方が占める割合を6～0の中から1つお答えください。

対応

1位	対応はとらない（影響はない）	140社
2位	中途・経験者を採用する	48社
3位	技能承継に注力する	25社
4位	定年延長・再雇用を行う	20社
5位	新卒を採用する	8社

50歳以上の割合

1位	～10%程度	63社
2位	なし（0%）	56社
3位	～30%程度	52社
4位	～50%程度	38社
5位	50%以上	28社

問3. 貴社が、採用活動にあたって利用する求人チャンネルにはどのようなものがありますか。次の1～9の中から、該当するものを最大3つまでお答えください。

1位	公共職業安定所（ハローワーク）	94社
2位	知人・取引先等からの紹介	59社
3位	新聞（折込み広告を含む）	41社
3位	求人情報誌	41社
5位	自社ホームページ	33社
6位	求人情報サイト	28社
7位	学校からの紹介	17社
8位	就職・転職セミナー	6社
9位	その他	5社

問4. 貴社では、今後どのような職能・技能を有する人材を採用したいですか。次の1～0の中から最大3つまでお答えください。

1位	業種独自の技能・資格	93社
2位	営業・販売	91社
3位	職能・技能は問わない	69社
4位	企画・管理	19社
5位	財務・経理	17社
6位	研究・開発	13社
7位	IT関連技能	10社
8位	その他	7社
9位	法務（労務や特許等）	3社
10位	語学力	2社

問5. 貴社では、震災からの復旧・復興に関連する業務（人的支援や被災地域企業との取引等）を行いましたか。行った場合は1を、行っていない場合は2を選択してください。その上で、日本経済全体の復興という観点から、今後、貴社が取組んでみたいと思う業務について、最もあてはまるものを3～0より1つお答えください。

1. 行った	35社	2. 行ってない	201社		
今後取り組みたい業務					
1位	特にない	148社	5位	被災地域での受注・販売	8社
2位	環境・エネルギー関連ビジネス	26社	5位	公共インフラ関連ビジネス	8社
3位	被災地域からの調達	15社	5位	その他	8社
4位	住宅・生活関連ビジネス	10社	8位	被災地域への人的支援	6社

経営のポイント! 『資金繰り②』

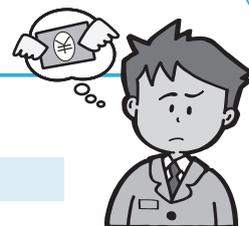
前号では、資金（お金）が不足する原因として損益計算書から営業利益についてお話ししました。今号と次号では、貸借対照表から資金（お金）が不足する原因について考えてみましょう!

原因その1 商品・棚卸資産が増加

商品・棚卸資産（在庫）とは、商売を行う上で一時的にお金が姿を変えたものに他なりません。当たり前のことですが、在庫が100万円増えればお金が100万円減り、在庫が100万円減ればお金が100万円増えます。では、どのようにすれば在庫は減るのでしょうか？ 一般的には下記のような施策が有効であると言われております。

- ① 会社内で在庫管理の責任者を明確にする。
- ② 削減目標値を設定する。
- ③ 重点品目（金額順、売れ筋順）に絞った在庫管理を実施する。
- ④ 発注方法の変更・改善を実施する。
- ⑤ 商品ミックス、商品フェイス数を見直す。
- ⑥ 仕入先を見直す。発注・納品リードタイムの短縮を図る。等々・・・

業種によって改善策は異なりますので、お近くの中栄信用金庫までお気軽にお問い合わせください。中栄信用金庫が経営のお手伝いをいたします!!



（次号につづく）